

## 「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」の一部変更新旧対照表

(傍線部は変更部分)

米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（27年3月）（案）	米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（26年11月）																																				
<p>第1 (略)</p> <p>第2</p> <p>1・2 (略)</p> <p>3 平成26/27年の需給見通し 平成26/27年の需給見通しは、表3のとおりです。</p> <p>(1) 供給量</p> <p>① 平成26年6月末の民間在庫量（確定値）は、220万トンです。</p> <p>② 平成26年産主食用米等の生産量は、<u>788</u>万トン（平成26年産米の水稻収穫量（主食用））です。</p> <p>③ この結果、平成26/27年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、<u>1,008</u>万トンとなります。</p> <p>(2)・(3) (略)</p>	<p>第1 (略)</p> <p>第2</p> <p>1・2 (略)</p> <p>3 平成26/27年の需給見通し 平成26/27年の需給見通しは、表3のとおりです。</p> <p>(1) 供給量</p> <p>① 平成26年6月末の民間在庫量（確定値）は、220万トンです。</p> <p>② 平成26年産主食用米等の生産量は、<u>789</u>万トン（<u>平成26年10月15日現在の</u>平成26年産米水稻の<u>予想</u>収穫量（主食用））です。</p> <p>③ この結果、平成26/27年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、<u>1,009</u>万トンとなります。</p> <p>(2)・(3) (略)</p>																																				
<p>表3 平成26/27年の主食用米等の需給見通し</p> <p>(単位：万トン)</p> <table border="1" data-bbox="107 1002 1052 1380"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>主食用米等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年6月末民間在庫量</td> <td>A</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>平成26年産主食用米等生産量</td> <td>B</td> <td><u>788</u></td> </tr> <tr> <td>平成26/27年主食用米等供給量計</td> <td>C = A + B</td> <td><u>1,008</u></td> </tr> <tr> <td>平成26/27年主食用米等需要量</td> <td>D</td> <td>778</td> </tr> <tr> <td>平成27年6月末民間在庫量</td> <td>E = C - D</td> <td>230</td> </tr> </tbody> </table>			主食用米等	平成26年6月末民間在庫量	A	220	平成26年産主食用米等生産量	B	<u>788</u>	平成26/27年主食用米等供給量計	C = A + B	<u>1,008</u>	平成26/27年主食用米等需要量	D	778	平成27年6月末民間在庫量	E = C - D	230	<p>表3 平成26/27年の主食用米等の需給見通し</p> <p>(単位：万トン)</p> <table border="1" data-bbox="1160 1002 2105 1380"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>主食用米等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年6月末民間在庫量</td> <td>A</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>平成26年産主食用米等生産量</td> <td>B</td> <td><u>789</u></td> </tr> <tr> <td>平成26/27年主食用米等供給量計</td> <td>C = A + B</td> <td><u>1,009</u></td> </tr> <tr> <td>平成26/27年主食用米等需要量</td> <td>D</td> <td>778</td> </tr> <tr> <td>平成27年6月末民間在庫量</td> <td>E = C - D</td> <td>230</td> </tr> </tbody> </table>			主食用米等	平成26年6月末民間在庫量	A	220	平成26年産主食用米等生産量	B	<u>789</u>	平成26/27年主食用米等供給量計	C = A + B	<u>1,009</u>	平成26/27年主食用米等需要量	D	778	平成27年6月末民間在庫量	E = C - D	230
		主食用米等																																			
平成26年6月末民間在庫量	A	220																																			
平成26年産主食用米等生産量	B	<u>788</u>																																			
平成26/27年主食用米等供給量計	C = A + B	<u>1,008</u>																																			
平成26/27年主食用米等需要量	D	778																																			
平成27年6月末民間在庫量	E = C - D	230																																			
		主食用米等																																			
平成26年6月末民間在庫量	A	220																																			
平成26年産主食用米等生産量	B	<u>789</u>																																			
平成26/27年主食用米等供給量計	C = A + B	<u>1,009</u>																																			
平成26/27年主食用米等需要量	D	778																																			
平成27年6月末民間在庫量	E = C - D	230																																			
<p>注1：平成26年産米のふるい下米や青死米等は、天候不順の影響に伴う登熟不良等により例年に比べ多く発生している状況にあることから、実際に主食用米等として流通する量は、例年よりも17～20万トン程度減少し、これにより平成27年6月末民間在庫量も減少する可能性がある。</p> <p>注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。</p>	<p>注1：平成26年産米のふるい下米や青死米等は、天候不順の影響に伴う登熟不良等により例年に比べ多く発生している状況にあることから、実際に主食用米等として流通する量は、例年よりも17～20万トン程度減少し、これにより平成27年6月末民間在庫量も減少する可能性がある。</p> <p>注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。</p>																																				

### 第3 (略)

#### 第4 米穀の輸入数量及びその種類別の数量に関する事項

我が国は、平成7年度からガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意に基づくミニマム・アクセス米の輸入を実施しており、この輸入は、「ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意の実施に伴う農業施策に関する基本方針」（平成5年12月17日閣議了解）の趣旨を踏まえつつ、輸出国の輸出余力、国際相場等を勘案しながら適切に行うこととしています。

##### 1 平成26会計年度の輸入状況

平成26会計年度においては、平成26年3月の基本指針第4に基づき、77万玄米トン（うちSBS（売買同時契約）方式による輸入10万トン）の輸入を実施すべく、順次買い付けを行い、その結果、全量（SBSは1万トン）を買い付けました。

##### 2 平成27会計年度の輸入方針

平成27会計年度の輸入予定数量については、平成27年3月の基本指針に基づき、WTO農業交渉において新たな合意ができるまではミニマム・アクセス数量は平成12年度の水準が維持されることから、年間77万玄米トンとします。

SBS方式による輸入については、予定数量を年間10万トンとします。

### 第5 (略)

### 第3 (略)

#### 第4 米穀の輸入数量及びその種類別の数量に関する事項

我が国は、平成7年度からガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意に基づくミニマム・アクセス米の輸入を実施しており、この輸入は、「ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意の実施に伴う農業施策に関する基本方針」（平成5年12月17日閣議了解）の趣旨を踏まえつつ、輸出国の輸出余力、国際相場等を勘案しながら適切に行うこととしています。

##### 1 平成25会計年度の輸入状況

平成25会計年度においては、平成25年3月の基本指針第4に基づき、77万玄米トン（うちSBS（売買同時契約）方式による輸入10万トン）の輸入を実施すべく、順次買い付けを行い、その結果、全量（SBSは6万トン）を買い付けました。

##### 2 平成26会計年度の輸入方針

平成26会計年度の輸入予定数量については、平成26年3月の基本指針に基づき、WTO農業交渉において新たな合意ができるまではミニマム・アクセス数量は平成12年度の水準が維持されることから、年間77万玄米トンとします。

SBS方式による輸入については、予定数量を年間10万トンとします。

### 第5 (略)